

目的

- 路面電車の線路の欠陥検査に、InspecTerra社のパッシブ磁気法iCammを使用。
- 約120mの距離を上下線の線路をスキャン。
- スキャン速度は2~3m/分。

iCammの仕組み

- レールの固有磁場は欠陥(内部・外部の両方)によって変化し、iCamm スキャナーでその磁場変化(欠陥部)を検出。

調査報告

- 孔食、波状、接触疲労等による欠陥、溶接や摩耗跡など、さまざまな種類のレール欠陥を容易に検出。
- また、テストエリアの一部で複数の潜在的な内部欠陥/亀裂が確認された。
- iCammのスキャンは、通常の路面電車の運行への影響は最小限であった。



レール表面の孔食の例

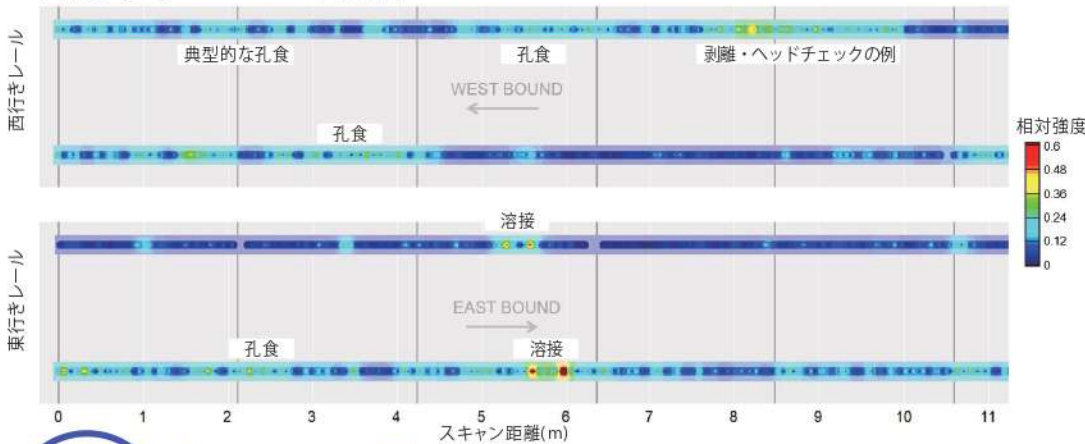


波状レールの例



剥離・ヘッドチェックの例

代表的なiCammの結果



InspecTerra

Infrastructure Condition Assessment